

能登町文化財レスキュー^{ニュース}News

第11号 発行日：令和6年9月15日 編集・発行：能登町教育委員会事務局文化財係

「文化財レスキュー」とは？

地震などで被災した家屋などから、古文書や美術工芸品などの歴史・文化的な資料を救出し、安全な場所に一時保管するものです。能登町では元旦の震災を受け、国の機関である文化財防災センターや、民間団体と協力して救出作業にあたっています。救出後には、資料を町で一時的に仮保管し（保管期間を限定します）、今後の取り扱いについて所有者と協議します。

文化財レスキュー活動報告

【9月5日 鵜川多田家】

鵜川の多田家は、江戸時代に十村役、近代には戸長などを務めた家柄で、江戸時代の古文書などを多く所蔵していることが知られていました。

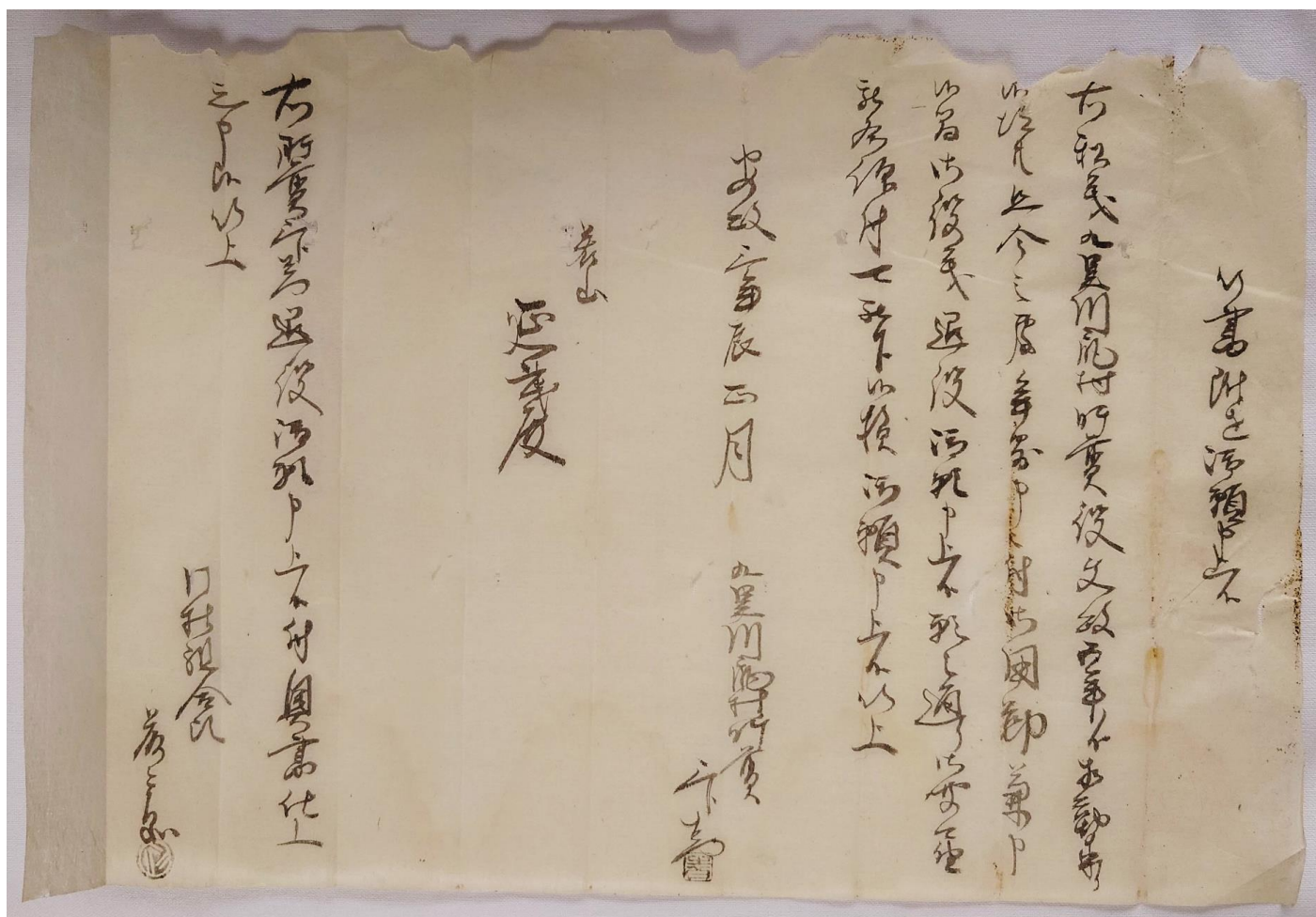
当日は文化財防災センターから3人、町職員2人が参加し、古文書などを家屋から救出しました。江戸時代初期の古文書類のほか、多田家の屋敷を描いた絵図や明治8年（1875）に制作された能登地方の絵図など、貴重な史料が多数確認できました。



確認された古文書



上・多田家の屋敷を描いた絵図 右・能登地方を描いた絵図



以書附を御願申上候

右私義九里川尻村肝煎役文政五年方相勤來り
候得共只今之處年寄申ニ付御用勤兼申
候間御役義退役御願申上候願之通り御聞届
被為仰付可被下候様御願申上候以上

安政三年辰正月
九里川尻村肝煎

三郎右衛門（印）

若山

延武殿

(奥書)

右肝煎三郎右衛門退役御願申上候付奥書仕上之申候以上

同村組合頭

藤兵衛（印）

この文書は、九里川尻村の肝煎きまいり（村長）三郎右衛門が、「文政5年（1822）から肝煎を務めてきたが、老年のために業務遂行が難しくなってきた。そのため、肝煎を退役したいので、その願いを聞き届けてほしい」と、十村とむら（肝煎の上役）であった若山のぶたけ（珠洲市）の延武へ送った書面の写しとみられます。

文書の後半（奥書）には、村のNo.2である組合頭おくがきの藤兵衛が、肝煎の三郎右衛門が退役したいと願っているくみあいがしらので、奥書を書き添えて申し上げますと追記しています。



本紙は町HPからも見ることができます

https://www.town.noto.lg.jp/www/info/detail.jsp?common_id=20872